

市民アンケート調査結果について (抜粋版)

※アンケート調査結果を抜粋してまとめています。次回以降の審議会において、基本目標毎に関連する調査結果をお示しいたします。

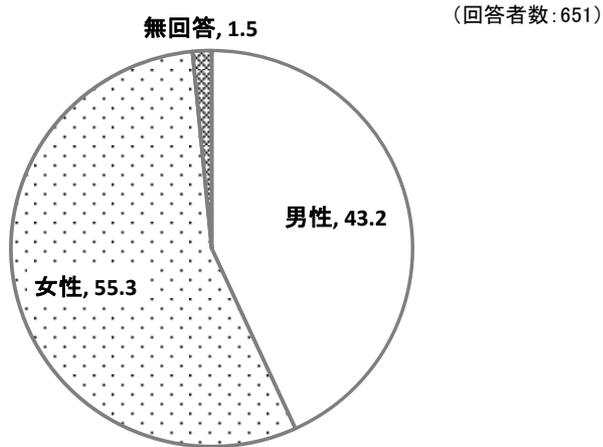
1.調査概要

調査の目的	まちの特性やこれまでのまちづくりの満足度、今後の方向性について、市民の皆様がどのように感じ、また、今後どのようなことに重点を置いて市政運営に取り組むべきかを検討する際の重要な基礎資料とすることを目的に実施。
調査対象	2,000人(満18歳以上の市民から無作為抽出)
調査方法	郵送による配布、郵送による回収 回答は無記名
調査時期	平成30年11月1日(木)～平成30年11月20日(火)
回収結果	回収数:653票 無効票:2票(白紙) 有効回収数:651票 回収率:32.6%
設問項目	1. 基本属性 2. 定住意向 3. まちの良いところ・足りないところ 4. 目指すべきまちの姿 5. 社会情勢 6. これまでのまちづくりの満足度と今後の方向性

2.調査結果

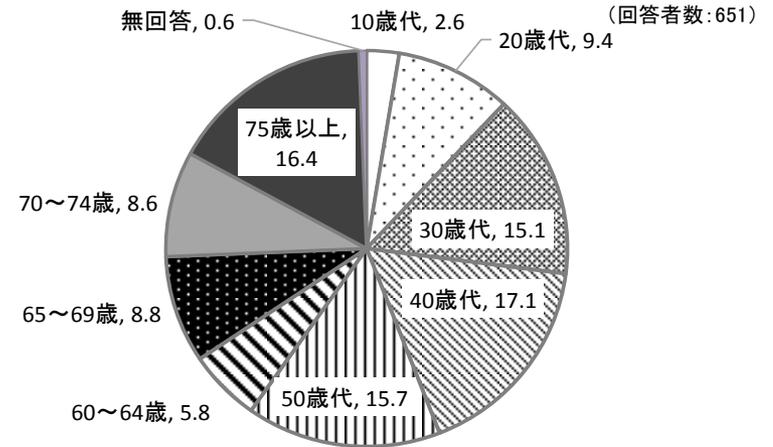
(1)基本属性

【回答者の性別】



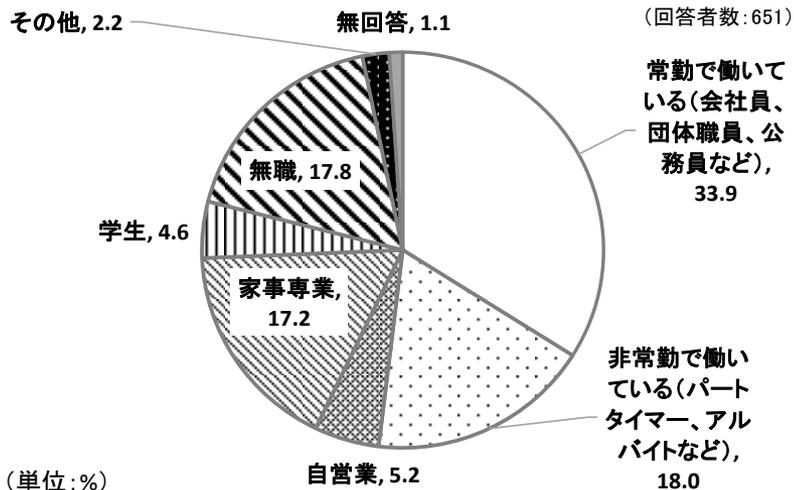
(単位: %)

【回答者の年齢】



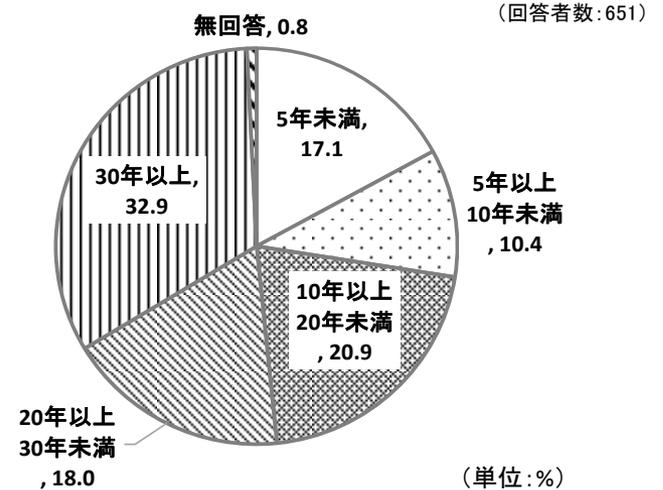
(単位: %)

【回答者の職業】



(単位: %)

【回答者の居住年数】

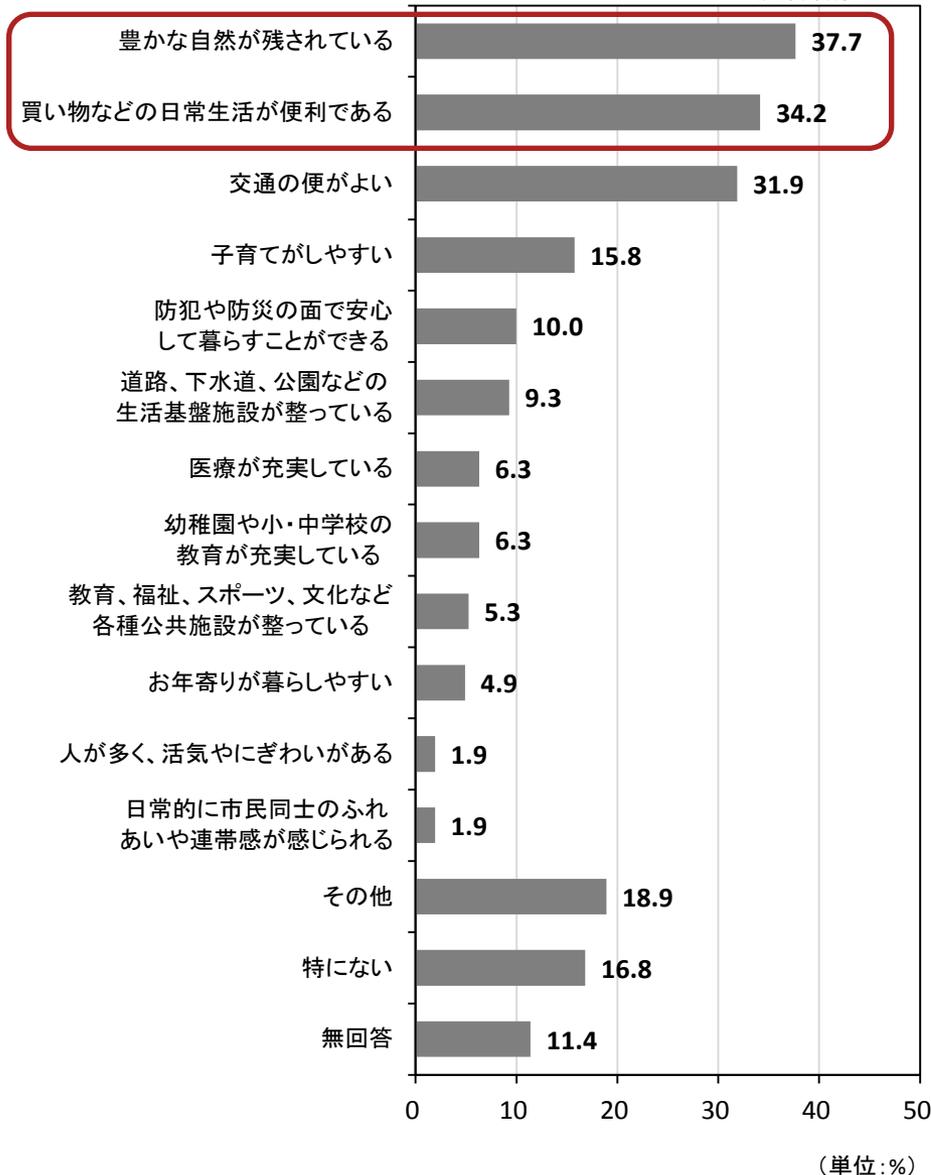


(単位: %)

(2)定住意向

【東久留米市に移り住む際に重視したこと】

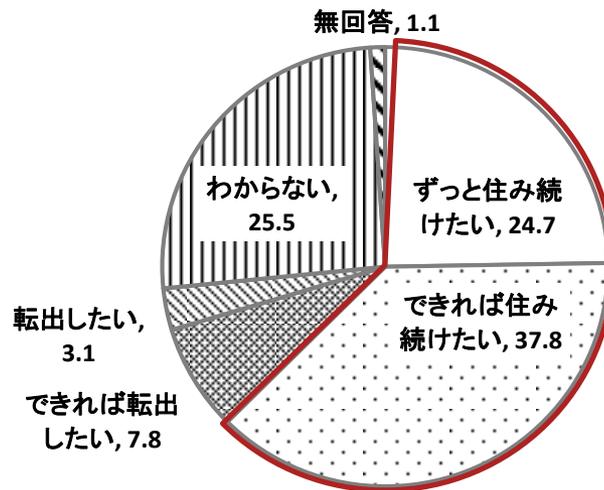
(回答者数:571)



- 東久留米市に移り住む際に重視したこととして、「豊かな自然が残されている」、「買い物などの日常生活が便利である」が上位。
- 回答者の東久留米市への居住意向は、約6割が住み続けたいと考えている。

【回答者の東久留米市への居住意向】

(回答者数:651)



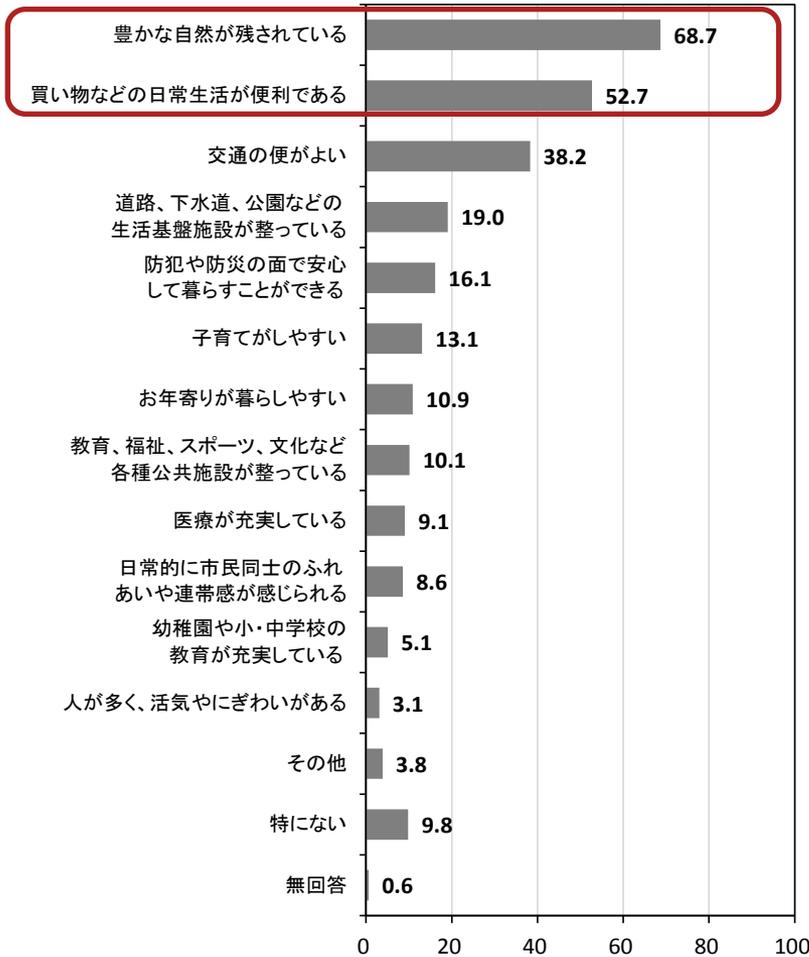
(単位:%)

(3)まちの良いところ・足りないところ

- 「良いと思うところ、優れているところ」の上位は「豊かな自然が残されている」。
- 「足りないと思うところ、劣っているところ」の上位は「医療面で不満を感じる」。

【良いと思うところ、優れているところ】

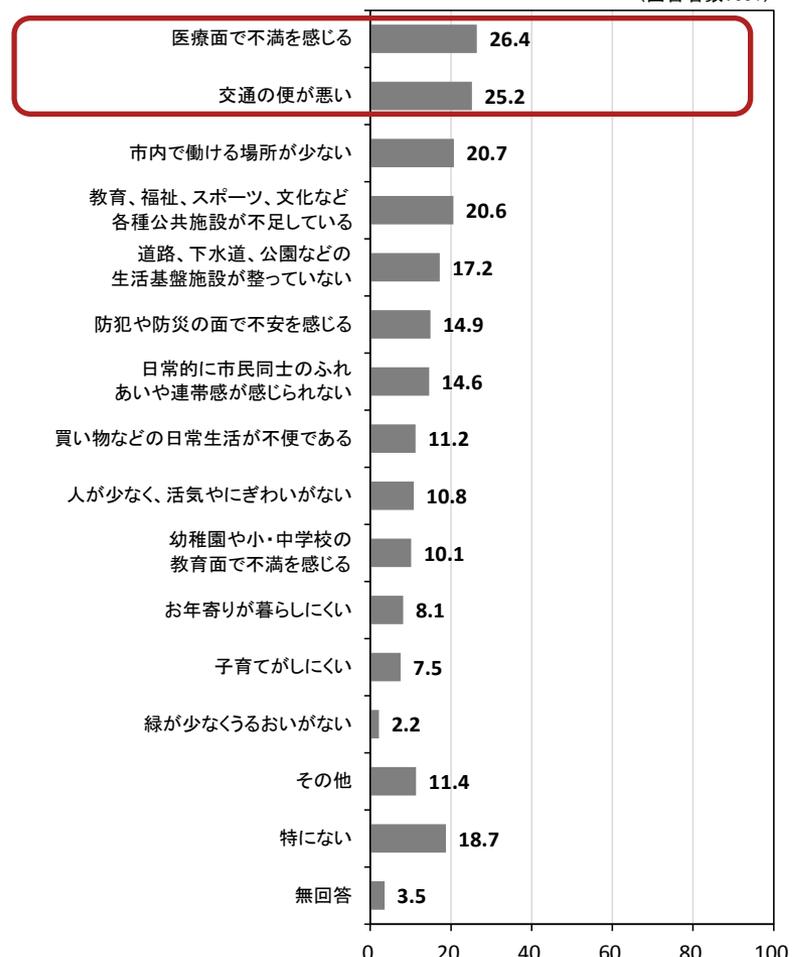
(回答者数: 651)



(単位: %)

【足りないと思うところ、劣っているところ】

(回答者数: 651)



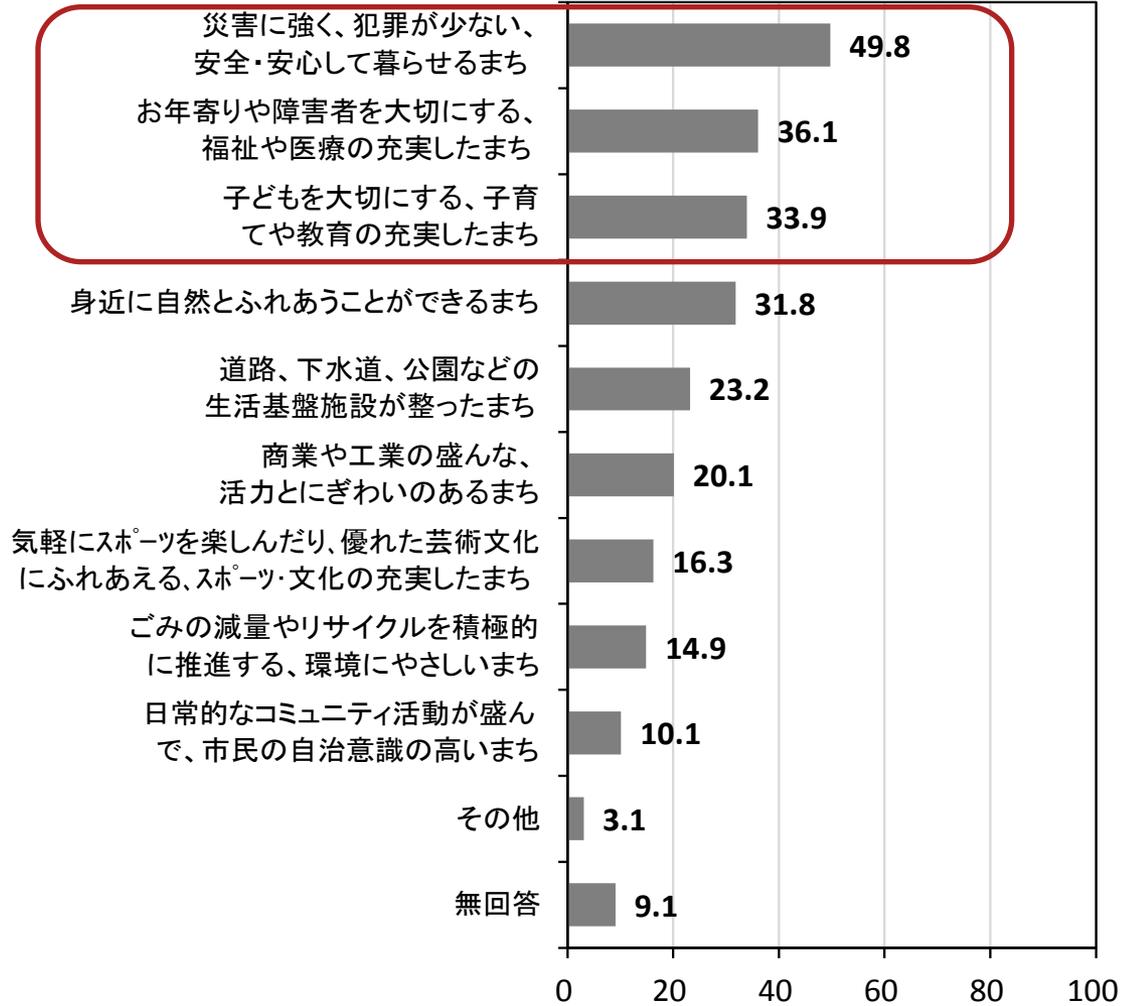
(単位: %)

(4) 目指すべきまちの姿

■ 上位は、「災害に強く、犯罪が少ない、安全・安心して暮らせるまち」、次いで「お年寄りや障害者を大切にする、福祉や医療の充実したまち」、「子どもを大切にする、子育てや教育の充実したまち」となった。

【東久留米市の目指すべきまちの姿】

(回答者数:651)



(単位:%)

■ 年齢別にみると、全体平均と比べて10歳代では「商業や工業の盛んな、活力とにぎわいのあるまち」が、20歳代・30歳代では「子どもを大切にす、子育てや教育の充実したまち」が、60歳代以上では「お年寄りや障害者を大切にす、福祉や医療の充実したまち」と回答した割合が10ポイント以上高くなっている。

【東久留米市の目指すべきまちの姿(年齢別)】

	回答者数	合計	1. 身近に自然とふれあうことができるまち	2. 商業や工業の盛んな、活力とにぎわいのあるまち	3. 道路、下水道、公園などの生活基盤施設が整ったまち	4. 子どもを大切にする、子育てや教育の充実したまち	5. お年寄りや障害者を大切にする、福祉や医療の充実したまち	6. ごみの減量やリサイクルを積極的に推進する、環境にやさしいまち	7. 気軽にスポーツを楽しんだり、優れた芸術文化にふれあえる、スポーツ・文化の充実したまち	8. 日常的なコミュニティ活動が盛んで、市民の自治意識の高いまち	9. 災害に強く、犯罪が少ない、安全・安心して暮らせるまち	10. その他	11. 無回答	
全体	651	1,617	207	131	151	221	235	97	106	66	324	20	59	
	100.0	248.4	31.8	20.1	23.2	33.9	36.1	14.9	16.3	10.1	49.8	3.1	9.1	
年齢	1. 10歳代	17	40	5	7	3	3	4	4	1	1	9	2	1
		100.0	235.3	29.4	41.2	17.6	17.6	23.5	23.5	5.9	5.9	52.9	11.8	5.9
	2. 20歳代	61	147	21	7	14	31	15	7	10	7	30	3	2
		100.0	241.0	34.4	11.5	23.0	50.8	24.6	11.5	16.4	11.5	49.2	4.9	3.3
	3. 30歳代	98	247	33	25	19	58	23	6	16	9	46	2	10
		100.0	252.0	33.7	25.5	19.4	59.2	23.5	6.1	16.3	9.2	46.9	2.0	10.2
	4. 40歳代	111	282	37	28	30	48	30	12	25	9	59	0	4
		100.0	254.1	33.3	25.2	27.0	43.2	27.0	10.8	22.5	8.1	53.2	-	3.6
	5. 50歳代	102	274	41	25	24	29	34	15	25	17	54	4	6
		100.0	268.6	40.2	24.5	23.5	28.4	33.3	14.7	24.5	16.7	52.9	3.9	5.9
6. 60~64歳	38	96	11	4	11	12	19	5	5	5	19	0	5	
	100.0	252.6	28.9	10.5	28.9	31.6	50.0	13.2	13.2	13.2	50.0	-	13.2	
7. 65~69歳	57	140	16	7	15	14	28	15	6	2	29	3	5	
	100.0	245.6	28.1	12.3	26.3	24.6	49.1	26.3	10.5	3.5	50.9	5.3	8.8	
8. 70~74歳	56	141	13	15	15	7	28	11	5	8	33	2	4	
	100.0	251.8	23.2	26.8	26.8	12.5	50.0	19.6	8.9	14.3	58.9	3.6	7.1	
9. 75歳以上	107	238	28	11	19	17	52	21	12	8	44	4	22	
	100.0	222.4	26.2	10.3	17.8	15.9	48.6	19.6	11.2	7.5	41.1	3.7	20.6	
10. 無回答	4	12	2	2	1	2	2	1	1	0	1	0	0	
	100.0	300.0	50.0	50.0	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-	

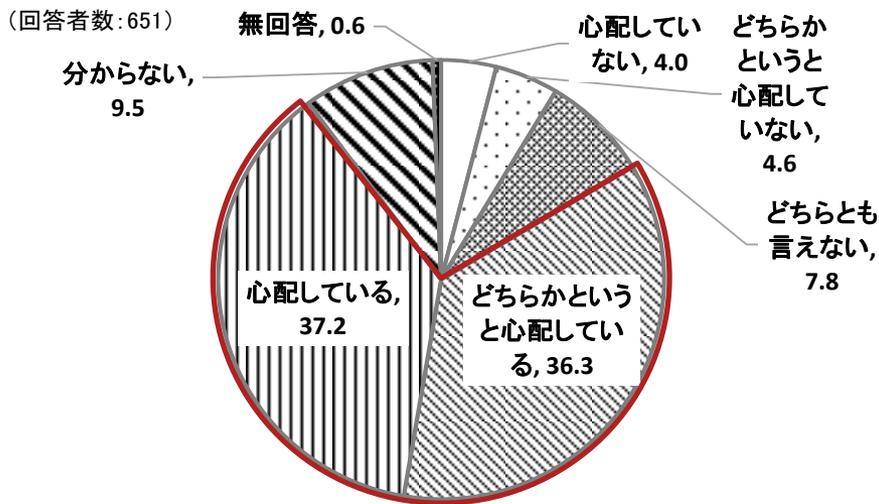
上段：回答数（n）／下段：構成比（%）

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上

(5)社会情勢

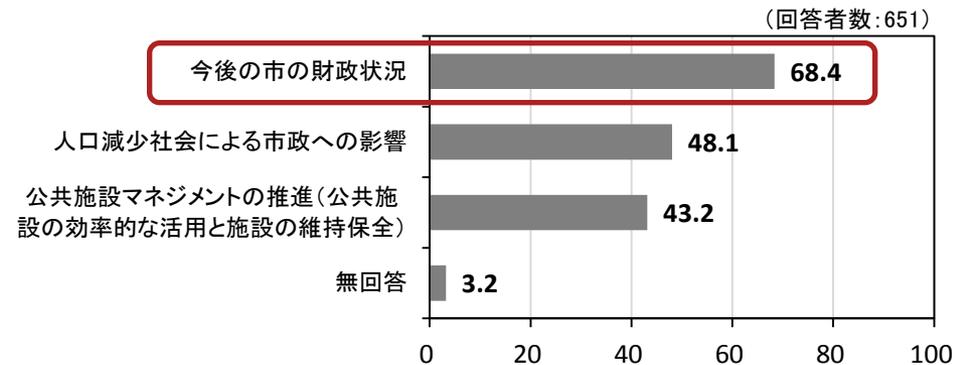
- 回答者の約7割が、東久留米市を取り巻く社会情勢を心配している。
- 「今後の市の財政状況」への関心が高い。

【東久留米市を取り巻く社会情勢の捉え方】



(単位: %)

【東久留米市を取り巻く社会情勢への関心】

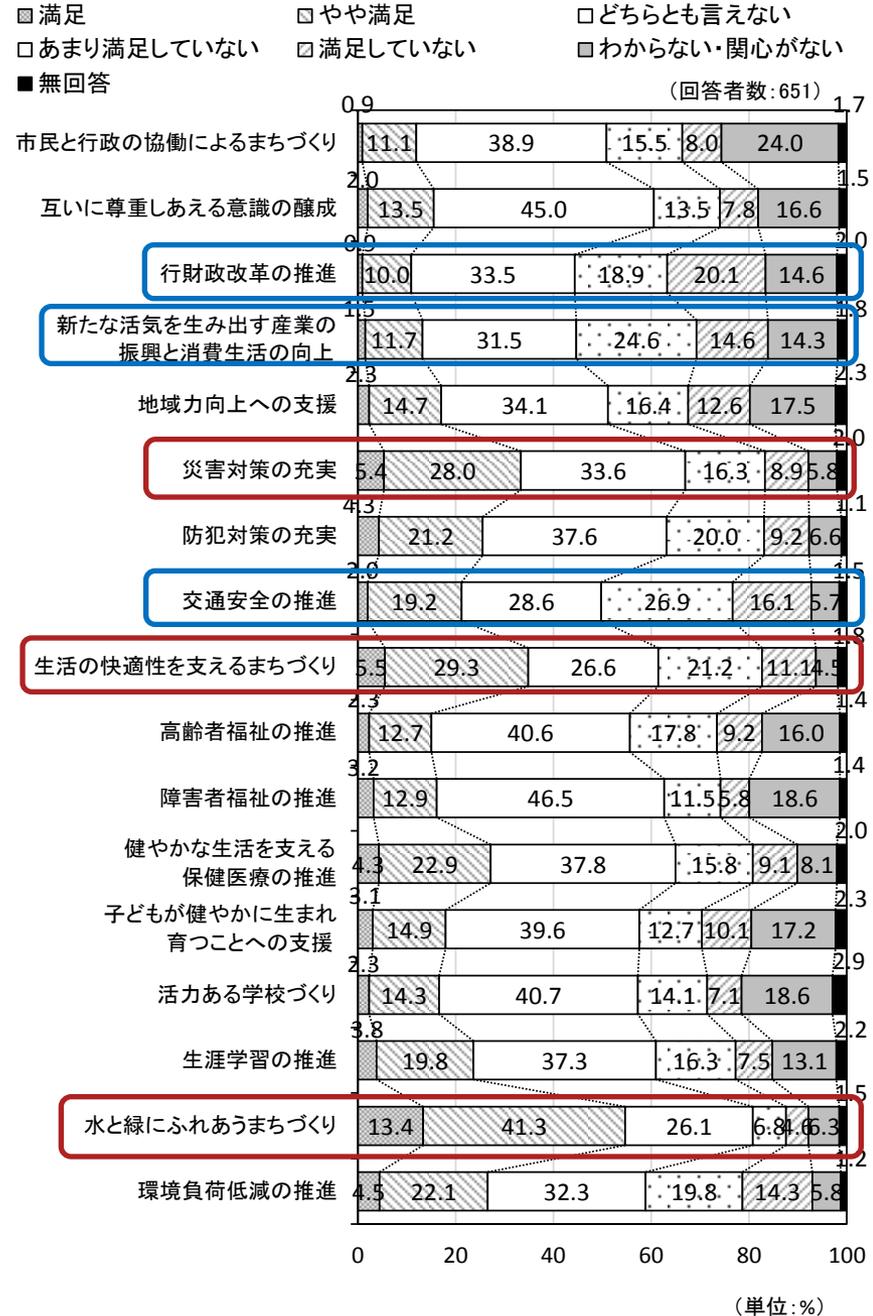


(単位: %)

(6)これまでのまちづくりの満足度と今後の方向性

- 「満足」と「やや満足」を合わせた割合の上位をみると、「水と緑にふれあうまちづくり」が54.7%と最も多く、次いで「生活の快適性を支えるまちづくり」が34.9%、「災害対策の充実」33.4%。
- 「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた割合の上位をみると、「交通安全の推進」が43.0%と最も多く、次いで「新たな活気を生み出す産業の振興と消費生活の向上」が39.2%、「行財政改革の推進」が39.0%。

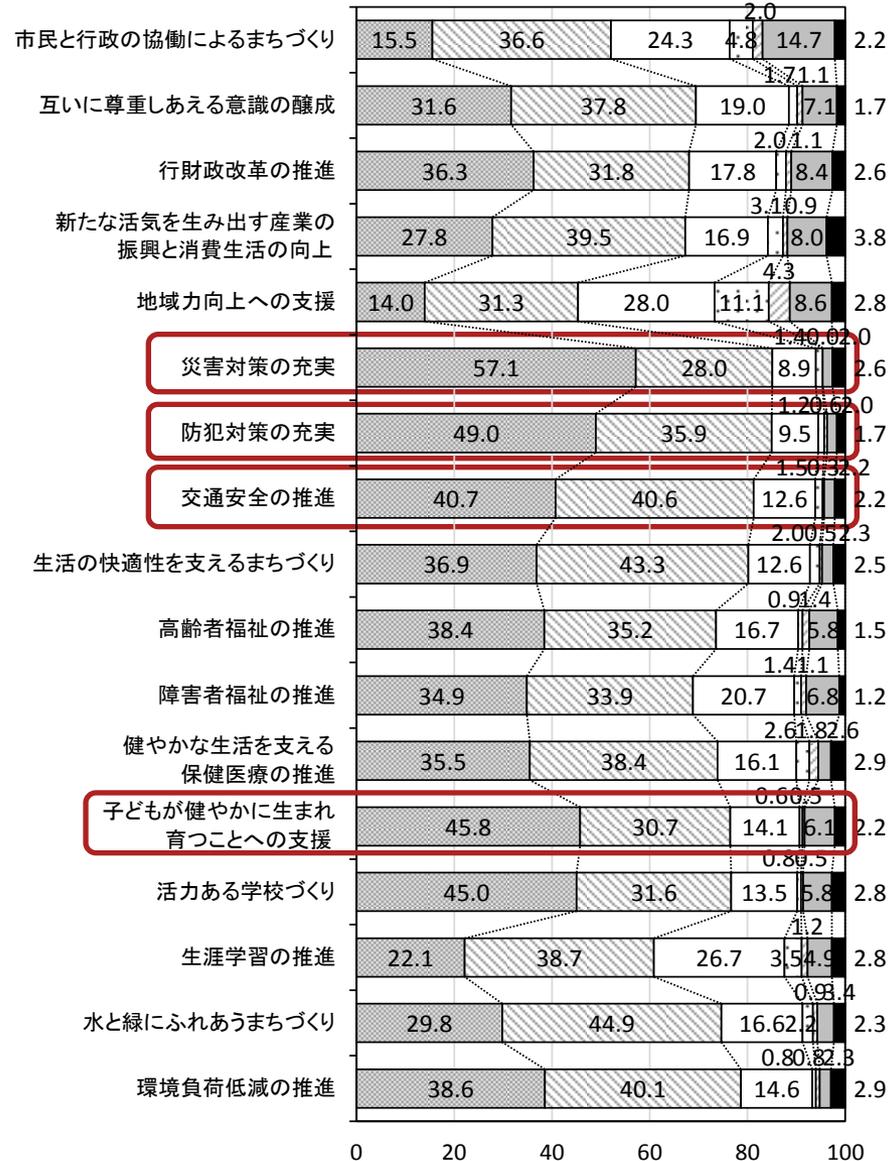
【施策の満足度】



【施策の重要度】

重要
 やや重要
 どちらとも言えない
 あまり重要ではない
 重要ではない
 わからない・関心がない
 無回答

(回答者数: 651)



(単位: %)

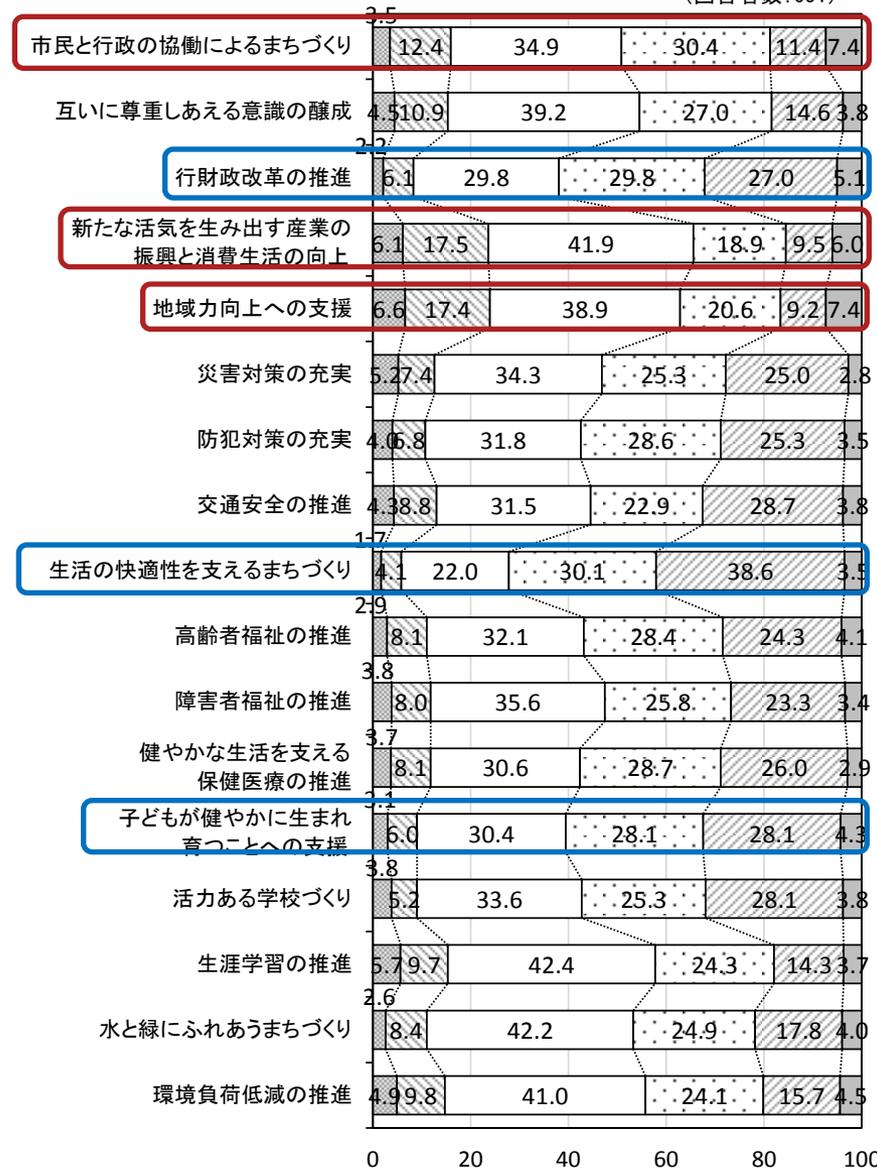
■ 「重要」と「やや重要」を合わせた割合の上位をみると、「災害対策の充実」が85.1%と最も多く、次いで「防犯対策の充実」が84.9%、「交通安全の推進」が81.3%。

■ 「重要」の上位3つは、「災害対策の充実」(57.1%)、「防犯対策の充実」(49.0%)、「子どもが健やかに生まれ育つことへの支援」(45.8%)。

■ 「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた割合は、すべての施策において約15%以下と、低い傾向。

【施策の役割分担】

■ 民の役割が大きい
 □ どちらとも言えない
 □ 公の役割が大きい
 □ どちらかというと民の役割が大きい
 □ どちらかというと公の役割が大きい
 □ 無回答 (回答者数: 651)



(単位: %)

■ 「民の役割が大きい」と「どちらかという
 と民の役割が大きい」を合わせた割合
 の上位をみると、「地域力向上への支
 援」が24.0%と最も多く、次いで「新たな
 活気を生み出す産業の振興と消費生
 活の向上」が23.7%、「市民と行政の協
 働によるまちづくり」が16.0%。

■ 「どちらかというと公の役割が大きい」と
 「公の役割が大きい」を合わせた割合
 の上位をみると、「生活の快適性を支え
 るまちづくり」が68.7%と最も多く、次い
 で「行財政改革の推進」が56.8%、「子
 どもが健やかに生まれ育つことへの支
 援」が56.2%。